

「チーム学校」を活かす

ケース会議の実施方法

スクールソーシャルワークの視点と方法を取り入れて

研修ビデオ:愛知県立大学作成

1

MENU

全 44 分

- | | |
|--------------------|------|
| 1 ケース会議とは | 7分 |
| 2 ケース会議の実際 | 35分 |
| ①問題を具体的に記述する | (7分) |
| ②本人の強み・長所を確認する | (4分) |
| ③目標(ゴール)を設定する | (3分) |
| ④問題の背景要因を検討する | (7分) |
| ⑤支援について案を出し合い、選択する | (6分) |
| ⑥役割分担と期日を決める | (6分) |
| 3 ケース会議の記録と振り返り | 2分 |

2

1. ケース会議とは

3

ケース会議の意義について

- ① 参加者間で情報を共有し、課題を明確にする
- ② 支援方針を参加者間で合意し、役割分担する
- ③ 支え合いの雰囲気を作る

4

ケース会議の意義について

- ① 参加者間で情報を共有し、課題を明確にする
 - ・ブレインストーミング形式で意見を出し合い、様々な視点から支援を考えることができる
 - ・教育、福祉、心理などさまざまな専門性をチームとして活かす支援へ

5

ケース会議の意義について

- ② 支援方針を参加者間で合意し、役割分担する
 - ・バラバラの関わりから、チームとして方向性を共有して、一貫性のある支援を

6

ケース会議の意義について

③ 支え合いの雰囲気を作る

- ・一人で抱え込まない状況を作り、支え合いつつ、精神的負担を和らげる

7

ケース会議の種類

校内でのケース会議

- ・学校関係者のみで行う会議。

拡大ケース会議（機関連携会議）

- ・学校外の機関（児童相談所、福祉関係機関、医療機関など）や、地域の支援者（民生児童委員、保護司など）を交えて、情報を共有し、支援について話し合う。

8

ケース会議の事前準備

- ・担当者は会議の参加者を検討する。
- ・事前に該当する児童生徒の情報を収集し、シートに記入する。
- ・担当者は会議の参加者に案内を出し、情報収集・整理シートを事前に渡しておく。

9

情報収集・整理シート

- ・3世代以上の家族関係がわかるジェノグラムや関係者や利用できる社会資源がわかるエコマップを記入して全体を可視化する。
- ・本人の生活状況、家庭環境、学校での状況及び、強みをわかる範囲で書き込んでおく。
- ・決まった様式があるわけではないので、使いやすいようにアレンジしてよい。

10

情報収集シート

11

ケース会議での3つの約束事

- 1 会議に出席した者は、出席した者の責任として、**会議で発言をし、積極的に参加**すること。
- 2 参加者皆で**合意してから次のステップ**に進むこと。
- 3 他者の**発言を妨げたり、批判したりしない**こと。

12

ケース会議6つのステップ

・1～6を60分で行う

・全てホワイトボードに書き出す

- 1 問題を具体的に記述する
- 2 本人の強み・長所を確認する
- 3 目標(ゴール)を設定する
- 4 問題の背景要因を検討する
- 5 支援について案を出し合い、選択する
- 6 役割分担と期日を定める

* 「問題解決型ケース会議」をアレンジしています。(馬場幸子『学校現場で役立つ「問題解決型ケース会議」活用ハンドブック』明石書店 参照)

13

13

支援計画策定の考え方

ストレングス視点

- ・子どもはみな、学ぶ力をもっている。
- ・現実的な目標であること
それが**子どもの権利保障**につながっていること。
- ・国連子どもの権利条約の四本柱
 - ・生きる権利
 - ・発達する(育つ)権利
 - ・保護される(守られる)権利
 - ・参加する権利

14

14

2. ケース会議の実際

15

15

ケース会議参加者

- ・教務主任 (ファシリテーター)
- ・学年主任(板書)
- ・養護教諭
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・教頭
- ・担任
- ・部活顧問
- ・生徒指導主任

16

16

① 学校内での問題、気になる事柄

子どものことに限定し、家族のことなどは④背景要因で話し合います。

17

17

② 長所・強み

子どもの強みだけではなく、環境(家庭、学校、地域)の強みなども、出し合います。

18

18

③ 目標

- 目標は、「～をしない」ではなく、「〇〇ができるようになる」、「△△の状態になる」など、肯定的な言葉で表現します。
- 出された案の中から、1～2つに絞ります。

19

④ 背景要因

子どもの個人的特徴だけでなく、家庭環境、学校の環境・指導方法にも視点をあてます。



学習や行動上の問題は子どもとその子どもを取り巻く環境との交互作用の結果として生じる。

20

⑤ 支援方法

- 支援内容は、いろいろ案を出してから、実現できそうなものに決めます。
- 教員が行うことだけでなく、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、校外の方など、多層レベルでの支援計画を立てます。



②で出した長所・強みを支援方法に活かす。

21

⑥ 役割分担と期日を決める

- 参加者は自らできることを発言します。
- 誰が、いつまでに、何をするのか、明確にします。

22

3. ケース会議の記録と振り返り

23

ケース会議の記録

- ホワイトボードに書き出した内容を、記録に残します。
- 記録には、必ず次回会議または振り返りを行う日程を記入します。
- 数日以内に、管理職及び会議出席者、関係者に記録を渡します。

24

ケース会議の記録

会議日時：9月4日（木）15：30～16：30
記入者：（ ）

参加者：担任、学年主任、養護教諭、部活顧問、生徒指導、教頭、コーディネーター、SSW
中学2年生 児童生徒氏名（ ） ナツオ

①学校内及び校外での問題・気になる事柄	②長所・強み	③目標	④考えられる問題の背景要因	⑤支援方法	⑥役割分担と期日
①程度・頻度を含めて具体的に ・7月は遅刻6回、欠席7回と増えてきている。9月は1回も出席していない。 ・学級内では落ち着かない ・部活内でイチロウからお菓子やジュースを奪われる。取っ金を渡す、万引きをするようにおぼせるなどのいじめに合っていた。 ・万引きは複数回しており、1週間前につづいて捕まった。成績は2年生の1学期から2学期にかけて欠席が増えるにつれて急激に落ちている。 ・保健室に時々来るが、その時少し身長が割になる。 ・2年生になって少しおどおどしていたり、自立している様子	②支援・介入方法を考える上で役立つような事柄 ・友達思いで優しい。部活や同じ学年などに友達がいる。 ・父と共通の趣味としてサッカーが好き。得意な科目は国語。部活はサッカーが好きなこと。得意な科目は国語。部活はサッカーが好きなこと。得意な科目は国語。	③目標 ・遅刻、欠席をゼロに近づける。 ・部活での関係性がよくなる。部活に2日目以降に来ることが出来る。 ・高校進学を希望している。 ・教諭とお父さんの関わりがある。	④考えられる問題の背景要因 ・クラス、教員、他の生徒との関係、本人の特性、家庭環境など ・父が家を空けることが多い。家庭環境が複雑。 ・イチロウは親の期待が大きすぎ不安定。周りの子に影響がある。 ・ナツオ君は保健室では話すが、父に嫌われていると思いついており、母と話す事が出来ない。 ・イチロウたちのグループからの要求を断れない。 ・父が生活面で厳しく、いろんなことを話さない。 ・嫌なことを伝えることが苦手。 ・お母さんが養護と家事が大変で疲れている。	⑤支援方法 ・担任と本人で話をし、本心を聞く。 ・担任と本人で話をし、思っていることを話せるようにしていく。 ・養護教諭からイチロウに話を聞く。 ・部活全体で話し合う。 ・教頭から夏雄の父へ、夏雄との関係を良くするための話をする。 ・SSWから母へ話を聞き、福祉サービスにつなげる。 ・ケース会議で話し合ったことを本人と保護者に伝える。 ・ナツオ君が学校した際の対応を学年会で話し合う。	⑥役割分担と期日 ・いつまでに、どこまでできていたらよいか) ・2週間以内に本人と話す。 ・1週間ほどで本人に意向を聞く。 ・1週間ほど。 ・部活顧問、生徒指導が（3～4週間後） ・1ヶ月くらいで母と関係がよくなる。福祉サービスを紹介できる。 ・担任が、3日以内に本人の話を聞いた家庭訪問後

25

振り返り

初回会議後、8～12週間後には「振り返り」を行います。

会議のやりっぱなしはダメ!!

- ・会議で決めた支援は実行されているか
- ・支援の効果が出ているか
- ・これまで達成した事柄は何か
- ・支援方法に修正を加える必要があるか
- ・取り組むべき新たな課題はあるか

26

振り返り(継続アセスメント)シート

27

撮影参加・協力者

◆撮影参加者

弓削 善晴
弓削恵理子
藤森 祐紀
寺谷 直輝
金箱 亜希
金本 侑真
横田早苗江
橋本由希子

◆撮影協力者

カメラ担当：中村 豪志
水野みち代
酒井多輝子
早川 真理
統括：山本 理絵
(愛知県立大学 教育福祉学部 / 大学院人間発達学研究所)

本研修動画は、独立行政法人教職員支援機構委嘱事業「令和2年度教員の資質向上のための研修プログラム開発・実施支援事業」として作成した。

ケース会議の実施方法については、2014年度～2018年度の愛知県立大学スクールソーシャルワーク教職員研修で馬場幸子氏にご指導いただいた内容を基にしている。

28